

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル鹿嶋（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者のニーズ、課題等をスタッフ全員で共有したうえで個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法などを職員間で検討、共有をしたうえで支援を行っている。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等を見逃さない体制づくりを行い、計画のモニタリング精度を向上させる。
2	日頃から児童の状況を保護者と共有することで、児童の健康や発達の状況について共通理解ができています。	送迎時の引き渡しの際や、連絡帳を通して児童の状況等を保護者へ伝達している。	保護者との関係をより強化し、保護者の悩みやニーズなどを確認していき、家庭・学校・事業所の三位一体の支援へと繋げていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な療育プログラム（SST等）の更なる質の向上。	活動内容は計画されているが、より個別ニーズに即した専門的なアプローチが必要な場面がある。	外部専門家（ST/OT/PT）のアドバイスを定期的に受ける機会を増やし、教材やプログラム内容のブラッシュアップを図る。
2			
3			